

随時寄せられる市民の皆さんの声



デーノタメ遺跡は本当に国指定史跡になれるの？

この遺跡は、市と文化庁で国指定史跡とするための協議・調整を平成20年度から実施しており、文化庁の調査官からも「国指定に値する貴重な遺跡」と評価されています。

また、日本考古学協会や東京大学をはじめとする多くの大学研究者からもその学術的価値について認められていることから、国指定史跡となるための条件は十分備わっているといえます。



なぜ都市計画道路が遺跡を迂回する必要があるの？

都市計画道路を迂回させなければ、国指定史跡化の実現は困難であり、新たな国の補助金を受けることもできません。区画整理事業費の増大や事業の早期完了が困難になることで、地権者の皆さんへの不利益が生じてしまいます。

なお、迂回した場合でも、都市計画道路としての道路網の形成や交通安全・防災機能を確保します。

遺跡保存（国指定史跡化）に向けて

現在、遺跡エリアの地権者の皆さんへ、デーノタメ遺跡の国指定史跡化に関する意向確認を実施中です。

この意向確認の結果や関係機関との調整・手続きの状況等を踏まえて文部科学大臣への意見具申を検討します。

国指定史跡化への道のり

- 地元説明会
- 地元地権者に対する意向確認 ← 今ここ
- 教育委員会の審議
- 地元地権者の合意形成
- 文部科学大臣への意見具申
- 国の文化審議会の答申
- 国指定史跡の告示
- 国指定の告示後かつ区域除外後、公有地化の開始

ただ残すだけでなく…

遺跡を整備・活用します

活用1 教育、観光、コミュニティへの貢献

→ 地域学習、イベント利用、にぎわい・交流創出、地元で誇れる新名所の創出

活用2 緑地の保全

→ 森林セラピー拠点としての活用、CO2の削減、植生整備、景観維持

活用3 防災・減災エリアとしての活用

→ 避難スペースの確保 など



デーノタメ遺跡の発掘調査の現地説明会には幅広い年代の皆さんにお越しいただきました。



全国的に有名な青森県の三内丸山遺跡では、ボランティアガイドが観光客を案内します



長野県の星賀峠黒曜石原産地遺跡では「黒曜石まつり」が開催されています



市内の緑地で開催される森林セラピーツアー

市長メッセージ



北本市長 三宮 幸雄

久保特定土地区画整理事業の課題解決を目指して

久保特定土地区画整理事業の長期化や経費の増大への対応は、長年にわたる本市の重要課題の一つです。また、事業区域内に存在するデーノタメ遺跡は国および地域の宝として保存すべき価値の高い遺跡です。

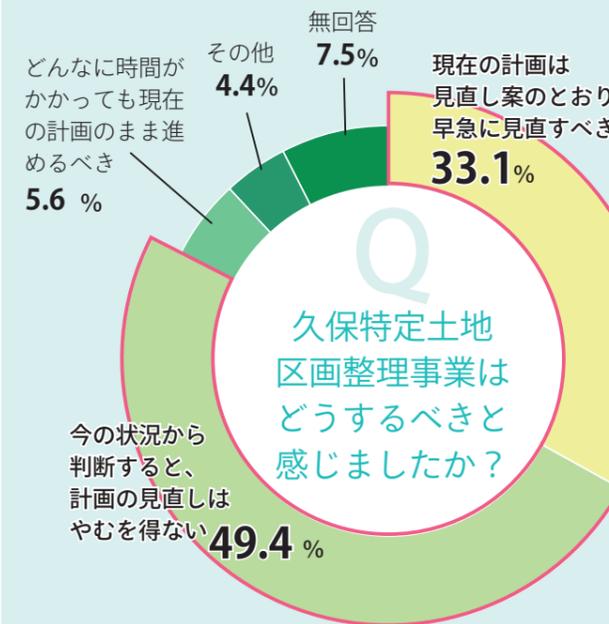
これを踏まえ、区画整理事業と遺跡の共存をめざす見直し案を推進することが将来の北本市にとって最も有効な方策です。

引き続き、地域にお住まいの皆様や市民の皆様の御理解・御協力をお願い申し上げます。

市民の皆さんの声

久保特定土地区画整理事業の見直しについては説明会やアンケート等で市民の皆さんの声をお聞きする機会を設けてきました。その内容についてお知らせします。

久保特定土地区画整理事業の見直しに関するアンケート調査



久保特定土地区画整理地内の地権者の皆さんに対し、区画整理の現状と見直しについての説明会を令和3年～令和4年に開催してきました。その後、郵送にてアンケート調査を実施。これにより、回答者の8割以上が「事業の見直しが必要と感じている」ことがわかりました。

- 対象** 久保特定土地区画整理地内に土地を所有または借地している権利者
- 期間** 令和4年8月8日～9月12日
- 回収** 回収数 320件 / 対象 850件
回収率 37.6%



地権者のリアルな声

なぜこんなにも事業が遅れたのか！？

より詳しい説明を！

今回の広報きたもと特集や随時の個別説明等で見直しの意義についてお知らせしていきます

生活道路の整備を進めて！

事業の早期完了を！

遺跡の保存活用を期待する

公園を作ってほしい

子育ての利便性を！

交通安全確保を！

見直し案の推進で実現可能

- ・ 区画整理事業の見直しに関する地権者アンケート
- ・ 令和4年度以降
- ・ 地権者へ遺跡の国指定史跡化への意向確認（正式な同意取得は別途実施）
- ・ 関係機関との調整
- ・ 区画整理事業、都市計画道路の変更に関する法定手続き



地権者への個別説明は随時実施

- ・ 令和3年度
- ・ 見直し案の策定
- ・ 地権者説明会（2回開催）
- ・ 令和4年度
- ・ 地権者説明会（1回開催）

久保特定土地区画整理事業見直し案推進のステップ